

| | | | |
|---|---------|---|-----------------------|
| 1 | 会議名 | 令和7年 第9回教育委員会会議 会議録 | |
| 2 | 開催日時 | 令和7年7月23(水) 午前10時00分～午前11時15分 | |
| 3 | 開催場所 | 岩国市役所4階 特別会議室 | |
| 4 | 出席委員 | 教育長 守山 敏晴 委員 村尾 利勝、渡邊 博明、岡田 淳子、岡崎 陽子 | |
| 5 | 欠席委員 | なし | |
| 6 | 会議出席者 | 教育次長 : 賀屋 和夫 教育政策課長 : 村重 武志 教育政策課 英語教育推進室長 : 藤本 佐祐里 学校教育課長 : 五郎丸 哲也 学校教育課主幹 : 松本 哲也 青少年課長 教育センター所長兼務 : 植田 明男 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 河本 葉子 中央図書館長 : 藤中 朗子 科学センター館長 : 大黒屋 誠 由宇支所長 : 山本 英裕 周東支所長 : 中村 洋一 錦支所長 : 常国 良徳 美和支所長 : 藤中 峰雄 | |
| 7 | 会議従事職員 | 教育政策課 : 山本 祥寛、廣本 菜穂美 | |
| 8 | 会議録署名委員 | 渡邊 博明、岡田 淳子 | |
| 9 | 議事日程 | | |
| | 日程第1 | 会議録署名委員の指名について | |
| | 日程第2 | 報告第11号 | 所管事項について |
| | 日程第3 | 議案第18号 | 令和6年度教育委員会の点検及び評価について |
| | 会議の概要 | | |
| | 教育長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ただいまから、令和7年第9回岩国市教育委員会会議を開会します。 ・それでは、日程第1会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、渡邊委員と岡田委員にお願いします。 ・本日の議題は、お手元に配布した資料のとおりとなります。 ・それでは、日程第2「報告第11号 所管事項について」を議題といたします。これにつきましては、協議会形式で進めたいと思います。各担当部署から先に配布しております行事予定表について、補足又は所管事項に関する懸案事項があれば説明をお願いします。 | |
| | 由宇支所長 | <ul style="list-style-type: none"> ・6月16日(月)に、マリンバ奏者の山下やよいさんほか2名の講師をお招きして、第2回由宇・モア・大学「打楽器の魅力!～マリンバの音色～」を開催しました。講師の方々は、「カープタウンゆう」にちなみ、深紅の衣装で、カープのタオルも持参して演奏してくださいました。56人の参加があり、会場を2組に分けての輪唱や、全員での合唱など受講者参加型の講演で、大変好評でした。 | |
| | 周東支所長 | <ul style="list-style-type: none"> ・8月24日(日)にミュージカル「宝島」を玖珂こどもの館で開催します。この事業は、子供たちが演劇や音楽活動など生の芸術にふれる機会をもて | |

| | |
|--------|---|
| | <p>るよう毎年こどもの館で開催しており、今年度は岩国市合併 20 周年記念公演として行います。入場料は 1,000 円、4 歳未満は無料で、チケットは 300 枚中 100 枚前後売れており、まだ余裕があります。生の演劇をこのように破格の値段で鑑賞できる機会はなかなかありませんので、ぜひお越しただけたらと思います。</p> |
| 錦支所長 | <ul style="list-style-type: none"> 8月の行事ですが、学校が夏休みということもあり、前半は小学生を対象としたにしきドリームクラブを開催し、後半はにしきよろず学問所、美川カレッジの生涯学習講座を開設する予定としています。8月9日（土）のにしきドリームクラブでは、「みんなで体験 e スポーツ」を行う予定で、e スポーツを通じて子供たちがデジタル技術に親しむ第一歩として楽しめる時間にできればと思っています。 |
| 美和支所長 | <ul style="list-style-type: none"> 本郷山村留学センターの留学生の帰省について報告します。小学生 10 名、中学生 2 名が 1 学期の生活を終え、7月18日（金）と19日（土）の2日間で全員無事に実家に帰宅しました。子供たちが山村留学センターに戻るのには8月30日（土）の予定となっています。 |
| 学校教育課長 | <ul style="list-style-type: none"> 8月の行事予定ですが、今年度は8月12日（火）から15日（金）までの4日間を学校閉庁としております。 中学校については、選手権大会がスタートしています。川下中学校野球部、岩国中学校野球部がベスト8という結果ほか、各種目とも善戦しているところです。 子供たちの熱中症、河川遊泳等の事故報告は今のところありません。子供たちにとって安心安全な夏になるようにしたいと思っています。 |
| 青少年課長 | <ul style="list-style-type: none"> 昨日から教職員の夏季研修講座がスタートしております。 また、先日実施しましたヤングケアラーに関するアンケート調査について御説明します。このアンケートは、こども家庭庁から県並びに市町においてきたもので、県内全ての学校で子供を対象に実施することとなり、本市においてはこども家庭課と青少年課が連携して実施しました。6月中旬から下旬までの間に、朝の会や帰りの会、ホームルーム等の時間を利用して実施しており、対象は小学3年生から中学3年生までの児童生徒です。ヤングケアラーとは、資料裏面にありますように家での過度な手伝い等を日常的に行っている子供のことで、学業や友人関係などに影響を及ぼし、心や体に不調をきたしていくことが危惧されています。本日配布している資料は、子供たちにアンケート調査を行う前に全ての保護者に配布したものです。アンケートの集計は終わっており、相談を希望する児童生徒につきましては、7月上旬から順次こども家庭課と青少年課が学校を通して聞き取りを行い支援につなげています。このアンケートは、継続して次年度以降、毎年1回行うこととなっておりますので、次年度以降はもう少し時期を早めて5月の連休明け頃に行いたいと考えています。 |
| 生涯学習課長 | <ul style="list-style-type: none"> 8月の行事予定のうち、26日（火）に開催する市民大学講座について御 |

説明します。お手元にチラシを配布させていただいておりますが、今年度も、8月から10月にかけて、定員を各回70人とし、身近な話題や関心が高い事柄をテーマに、全5回開催します。まだ定員に達しておりませんので、現在、申込受付中です。ぜひ多くの方に受講いただければと思っています。

- 先月ご説明しました花いっぱいコンクールについてですが、今月9日(水)に開催した表彰式のプログラムを配付しております。受賞者は一覧のとおりです。今月16日(水)まで中央図書館展示ホールで開催した写真展において、令和8年度の花いっぱいコンクール参加のチラシを掲示しており、学校や団体にしっかりPRしながら、来年度も実施したいと考えています。

- 中央公民館の8月の行事予定についてですが、各地区・分館とも、7月に続き8月も、夏休みということで、小学生を対象とした講座を多く計画しています。先週土曜日に市民文化会館で開催した「夏休みキッズフェスタ」には、合併20周年記念ハクジャオーショーもあわせて開催し、来場者980人と、大変多くのご家族にお越しいただきました。来年度は、新しい施設でブースなど工夫しながら実施したいと考えています。

- 岩国市中央公民館等複合施設の愛称について、応募者191人、応募総数380件の中から選定し、『いわくに交流テラス M i r a i d o (ミライド)』に決定し、先週18日(金)にホームページで公表いたしました。M i r a i d oの愛称の由来は、未来とドアを合わせた造語で、未来への扉が開く場所ということです。今後、皆さんに定着してもらえるよう、しっかりPRしてまいります。

中央図書館長

- 今月21日(月)から中央図書館のエレベーター更新工事が始まりました。10月まで利用者用を、11月からは業務用を工事する予定となっております。工事期間中、利用者の方には業務用のエレベーターを利用させていただくこととしています。

科学センター館長

- 6月29日(日)に科学教室「プログラミングを体験しよう with 岩国プログラミングクラブ」を開催しました。岩国プログラミングクラブさんは、周東町で毎月1回程度、プログラミング教室を開催しておられますが、この度は、科学センターが講師としてお招きし、科学教室として開催しました。内容は、プログラミングソフト「スクラッチ」を使って簡単なゲームを作ろうというものでしたが、スクラッチに慣れた子供が多いという印象で、最後には、練習で作ったゲームとは全く違う野球ゲームや風船を割るゲームなど、オリジナルのものを作成し、楽しんでいる参加者もいました。プログラミング教室は応募者が毎回多いため、来年度以降は、職員でも実施できるようプログラミングに関する教室を拡大していきたいと考えています。

- チラシをお配りしていますが、8月16日(土)に「身近な不思議を数字

で読み解く」という講演会を開催します。講師は、数学の楽しさを伝えるために「文系もはまる数学」など書籍の執筆や各地での算数に関するイベントなどを行っておられる横山明日希さんです。今回の講演会は、午前と午後の定員各 130 人の 2 部制とし、午前は小学 3 年生以上の児童生徒向けで、算数マジックなどを通じ、算数を楽しく学ぶ内容となっています。午後は、中学生以上向けで、数学と科学の関係、STEAM 教育や数学が得意になるコツなど、数学に興味のある方向けの内容となっています。現在の申し込み状況は、午前 123 人、午後 63 人と、当初は、数学に関心がある子供たちがどれだけおられるか未知数でしたが、特に午前は早くも定員に達しそうで、想定していたよりも関心の高さがうかがえる状況となっています。午後はまだ定員に達しておりませんので、多くの方の御参加をお待ちしています。

教育政策課長

- ・ 8 月 9 日（土）に予定している国際交流ライブラリーについて御紹介します。この企画は、基地に住む外国人の方々にも気軽に図書館を利用させていただきたいという思いから、中央図書館と英語教育推進室がコラボして初めて開催する「日米の中高生」を対象とした英語交流イベントです。会場は中央図書館で行います。イベントには、市内に在住・通学する中高生 12 名程度に加えて、基地のペリースクールからも、約 10 名の中高生が参加する予定です。また、イベント当日には、市内の学校から A L T や国際交流支援員がファシリテーターとして参加していただく予定になっています。日米の中高生がゲームやアクティビティを通じて交流し、互いの文化を学び、さらには、今後、基地の子供たちが市内の図書館に立ち寄りきっかけになれば、と期待をしています。

- ・ もう 1 つ、8 月 15 日（金）に記載している「B a c k 2 S c h o o l B a s h」について、御紹介します。これは P L A T A B C が基地内の企画に参加するものとなります。「B a c k 2 S c h o o l B a s h」は、「新学期パーティー」というような意味で、基地内の小中学校が新学期を迎えるにあたり、新入生や転入生等を歓迎するためのイベントで、今回、そのイベントエリアの一角に、P L A T A B C のブースを設けさせていただくことになりました。くじ引きやアクティビティを行い、イベントを盛り上げたいと思っています。その上で、基地内の子供たちや保護者の方々にも、今後、P L A T A B C に立ち寄っていただけるよう、P L A T A B C の P R も、しっかりしていきたいと思ひます。

教育長
村尾委員

- ・ 全体を通しまして、御意見・御質問がございましたらお願いします。
- ・ 学校教育課にお尋ねします。全国学力・学習状況調査の結果が出ましたね。それぞれの学校に対する課題等が見つけられたと思いますが、早めに知らせることで、夏季休業中の子供の学力の復習等にあてることが出来ます。例えば川下小学校では、サマースクールを実施しており、3 年生以上の希望者を集めて補習をするという体制をとっています。地域の方が昨日も今

| | |
|---------------|--|
| <p>学校教育課長</p> | <p>日も3、4人来ておられました。また、中学生も1人に1名ずつつくくらい、20人程度参加しており、個人の学力に対応した指導を行っています。子供たちも意欲を持って、それぞれの課題について国語や算数などを中心に自分の苦手な問題にあたっていました。地域の方は退職校長や教頭先生だったんですが、そうした体制で子供たちが自分の課題に取り組むというのは非常に良いことですし、かなり充実した学習指導ができていると思います。また、中学校は受験がありますからね。小学校からそういうシステムを作っていくと、中学生に対しては高校生も呼んで対応するというような体制をとってあげれば、個別対応も非常に充実してくるのではないかと思います。そうした取組を各学校で進めていただきたいと思うのですが、どうでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校で地域の方を招いての個別指導や講習は少しずつ広がっており、小中高のつながりはとても効果的だと思います。今回の全国学力・学習状況調査については、夏休み前の自己採点の段階からそれぞれ指導主事が入って体制づくりや校内研修の計画づくりなどを行っています。また、今のお話にあったような、小中高、地域、退職された先生方と連携をとることができるような学び直しと校内研修の活性化についても指示しているところです。 |
| <p>村尾委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> 新聞等によると、中学校の数学が極端に悪かったということですが、数学は一朝一夕でできるものではないですよ。高校入試を目標にすると、やはり夏休みくらいから弱い教科を中心にやっていくことが必要になると思います。こうした取組がきっかけになれば良いと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。 |
| <p>渡邊委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> 青少年課のヤングケアラーの件ですが、アンケートを行った結果について、公表できない部分もあると思うのですが、どのような感じだったのか教えていただきたいと思います。 |
| <p>青少年課長</p> | <ul style="list-style-type: none"> 本アンケートの結果については、後日こども家庭課がホームページで公表する予定としております。概要については、まず回答率ですが、「答えたくない人は答えなくて良い」としているため、80パーセント程度となっています。「過度にお世話をすることで困っていることや悩んでいること、ストレスに感じていることがありますか」との設問に対し、80パーセントの生徒のうちの1パーセントくらいは「困っていることがある」と回答しました。そのうち、「学校の先生や色々な人に相談したいですか」との設問に対し、希望者が若干名おりましたので、そちらについては7月に青少年課とこども家庭課と一緒に学校を訪問し、今後の支援について協議したところです。アンケートについては、答えたくない、隠したい、周囲から見ると過度にお世話をしている状況があるが本人が自覚していない、など難しいところがございまして、いずれにしてもいろいろな機会をとらえて本当に困っている子供たちの支援につなげていきたいと考えていると |

| | |
|----------------------|---|
| <p>教育長 青少年課長</p> | <p>ころです。アンケートを取るのではなく、アンケートを通して本当に困っている子供たちを支援していくことが目的なので、今後とも両課で協力しながら、支援の必要な家庭や子供をケアしていきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは無記名で行ったのですか。 ・基本的には無記名ですが、相談したい人は名前を書ける様式となっています。相談したくない子供たちは名前を書かないので私たちも把握できませんが、困っているというメッセージは伝わるようになっています。 |
| <p>渡邊委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・小学生などは特に、分からないまま義務的な感じで家族のお世話をずっと続けている子もいると思います。教えてあげていただければと思いますので、よろしくお願いします。 ・科学センターについて、8月の行事予定にある岩国海洋環境試験評価サテライトで行う水中科学教室は毎年大人気の企画と思うのですが、今年はどんな募集状況ですか。 |
| <p>科学センター館長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・正確な募集人数の把握はできておりませんが、今回は小学4年生から6年生までということで、学年を上げて開催する予定としています。今のところ、例年以上の応募で締め切った、というような状況ではありません。コンテストを2年に1回開催していますが、今年はその年ではないので、1回だけの開催です。 |
| <p>渡邊委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今後、新しい科学センターとの距離が若干近くなると思うのですが、コラボレーションといいますか、共同企画や発表会などといったことは計画されていますか。 |
| <p>科学センター館長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新たな企画は今のところ考えていないのですが、2年に1回はロボットコンテストがありますし、それ以外の年も、科学センターとして水中科学教室のようなものは毎年開催したいと考えています。 |
| <p>渡邊委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・7月17日（木）に、中国地区市町村教育委員会連合会の研修大会が倉敷市でありました。この大会で一番印象に残ったのが、倉敷のまちも認定されている日本遺産についてです。今年の10月に日本遺産のフェスティバルが倉敷であるとのことで、研修大会でも伝統芸能のアトラクションがあり、大人ではなく子供たちが出演していました。日本遺産に認定されるには、ストーリーがないといけないそうです。例えば倉敷では、伝統の踊りや昔から伝わる地元の民謡を子供たちが継承しているのですが、そうしたものが小中高校生の授業のカリキュラムに組み込まれているということで、とても感銘を受けました。岩国は世界遺産を目指した取組なので少し異なるかもしれませんが、地元で伝わる民謡や踊りを継承する取組が小学生の頃から学校で行われているということが、子供たちが大人になってからも郷土愛を持ち続ける一つの手立てになるのかなと感じました。ちなみに日本遺産は、山口県には門司・下関で認定されているものしかありません。ほかの県はたくさんあるのに山口県にないのは不思議なのですが、ストーリー性を重視して文化庁で認定されるそうです。倉敷の取組は、世界 |

| | |
|---------------------------|--|
| 岡崎委員 | <p>遺産の登録に向けても参考になるような仕組み作りだと思い、紹介させていただきました。</p> |
| <p>岡崎委員</p> <p>学校教育課長</p> | <ul style="list-style-type: none"> 先ほどのお話にありました夏休みの講習についてですが、長期の休みなので子供によって差が出るころだろうなという不安があります。中学生は結構な量の課題を持って帰ってきているのですが、1学期の授業で躓いている子はその課題を終わらせて提出するためだけの夏休みになってしまうのではないかと心配です。もちろん自分の弱いところなど、テストの結果などで分かるようにはしてもらっているのですが、子供がそれを見て対応するのは難しいのではないかと考えていて、個別に、苦手な部分を中心とした宿題、というような対応が必要な子もいるのかなと思います。タブレット学習も本当に進んでいて、勉強に意欲のある子はどんどん進んでいけると思いますが、そこにまだたどり着けない子も多いのではないのかという印象で、勉強が得意な子と苦手な子の差が広がってしまうのではないかと心配です。先ほどの川下小学校の取組はすごく良いと思うのですが、そうした活動をされている学校はほかにもあるのでしょうか。 |
| <p>岡崎委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> 周東中学校なども伝統的にされています。高校生と連携しているという話も聞いておりますし、取組が少しずつ広がっている印象です。また、AIのスタディアプリを入れて、中学校では試験的にこの夏休みに取り組んでみようという話を校長会でも話題にしています。習熟度に応じた課題の問い直しなどにつながればと考えています。 |
| <p>岡崎委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> 夏休みに入り、水難事故がないことを祈るばかりですが、学校の個人懇談の際、先生から直接遊泳についての注意があり、プリントをその場で渡されて危険箇所などの説明もしていただき、すごく子供のことを心配してくれていると感じました。プリントを持って帰るだけではなく、直接説明してもらえたことがすごく良かったと感じていて、今後も個人懇談などの面と向かって話す機会を大切にさせていただけたらと思います。 |
| <p>村尾委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> 補足ですが、十数年前、夏休みが終わってからだったと思いますが、野球部の生徒がため池に落ち、亡くなった事故がありました。運動能力の高い生徒でしたが、ため池が沼のようになって上がれなかったと。今は着衣水泳の授業をしている学校もとても少ないのではないかと心配ですが、危ない場所も多く死角があると思いますので、河川だけでなく、そうした危険箇所も含めて注意しなければと思います。 |
| <p>青少年課長</p> | <ul style="list-style-type: none"> 学期末の前には必ず遊泳の指導をしております。岩国市内で遊泳が許可されている海水浴場は監視員のいる潮風公園しかありません。また、河川については子供だけの遊泳をして良いと言っている場所は1か所もありません。川で遊泳や水遊びをする場合は必ず保護者同伴で行うように、学校でも指導しています。 |
| <p>岡田委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館の利用状況で、利用者人数や貸出冊数、予約・リクエスト件数など、玖珂が全体に比べて非常に成績が良いと思うのですが、施設の面や |

| | |
|--------|--|
| 中央図書館長 | <p>広さなど、何か理由があるのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玖珂図書館は新しく奏ができてからそちらに移っており、施設としても新しいということで、利用者の関心が高いことが理由と考えています。また、展示も工夫しています。 |
| 岡田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の広さに比べてこれだけのシェアを占めているというのはそれだけの魅力があるということだと思いますので、そうした点を図書館がお互いに学びあうことも必要だと思います。 |
| 岡崎委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・私も玖珂図書館の展示の仕方など、とても素敵だと感じています。 |
| 岡田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学講座について、音楽の第五回で白岩先生と友清先生が来られるとのことですが、私が退職して1年目に大学の研究室が先生方のお隣でした。本当に美しい音の方々です。ウィークデーですが、可能な方はぜひ受講されると良いと思います。 ・いわゆる学力向上についてですが、全国学力・学習状況調査の結果も返ってきていると思いますが、それを見て夏休みどういうことを家で話すかが大事だと思います。また、川下地区などで行っている取組も大切ですが、基本的に学校の役割は学力の保障なので、日頃の学校の稼働時間の中で授業改善をして、学力向上に向けて取り組んでいくことが必要だと思います。学校での授業を見ていると、課題が出たらすぐタブレットで調べて話し合う、というのが日常的になっていて、一人で考えて書き落として、そこから協働的な学びにもっていくというプロセスがないのではないかと、教職員に話したことがあります。授業の中で、すぐ動きだすんですね。すぐ調べ始める。そうではなく、一人で考えてから調べる、あるいはほかの人たちと協働的な学びにする。個別最適か協働的な学びかの選択だと思いますが、その選択を自分の意志で選んでいけるような授業構成をしていかないといけないと思います。一人で考える時間はすごく大事だと思いますので、分からないことや疑問に思ったことに他の人の多様な意見を混ぜ込んで新しい意見を作り上げていくプロセスなども考えて授業構成をしていくことが必要ではないかと思っています。 |
| 学校教育課長 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善についてですが、学校でもいわゆる講義式の授業が減って協働的な学びと個別最適な学びが広がっています。委員ご指摘のとおり、あくまでタブレットは手立てですので、まず個がしっかり書き、それを広げ、そして集約する。集約するところが振り返りということで、今はこの振り返りの場面を大切に授業の構成をしています。授業づくりに関して後期の学校訪問等も行いますので、また良い報告ができたと思います。 |
| 渡邊委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・錦川一斉清掃について、毎年夏に計画していて、近年は天候不良で中止になっていたと思うのですが、今年の実施予定はありますか。 |
| 教育次長 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当が河川課かと思うのですが、情報をこちらで把握していないのでまたお知らせします。 |
| 渡邊委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・一応秋口ではないかという情報が地域的には入っていたのですが、毎回小 |

| | |
|--------------------|---|
| <p>教育長</p> | <p>中学生にチラシが配布されていた記憶があり、今回夏に配布がなかったようだったので聞いてみました。また教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別のないようでしたら、報告第 11 号を終わります。 ・次に、日程第 3「議案第 18 号 令和 6 年度 教育委員会の点検及び評価について」を議題といたします。なお、この日程につきましては、公表までの間、議事について非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。 |
| <p>各委員 教育長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・異議なし。 ・御異議なしと認め、日程第 3 は非公開といたします。それでは、非公開として議事を進めてまいりますので、関係者以外の方は御退出をお願いします。 ・それでは、教育政策課より説明をお願いします。 |
| <p>教育政策課長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「議案第 18 号 令和 6 年度 教育委員会の点検及び評価について」御説明いたします。 ・点検・評価については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表すること。」とされております。本報告書は、法の趣旨にのっとり、各事業の取組や成果を分析するとともに、項目ごとの評価を踏まえて総合評価を行い、今後の方向性について検討を行ったもので、対象年度は令和 6 年度になります。 ・まず、1 ページから 5 ページですが、第 1 章として、教育委員会会議の開催状況と教育委員の活動実績をまとめております。続いて、6 ページの第 2 章「点検・評価の実施」についてですが、対象事業は、本市教育委員会が執行する全ての事務とし、その中から「教育基本計画」の「施策概要」に掲げた主たる事業を選定しています。また、「3 意見聴取」にもあるように、同法第 26 条第 2 項で「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る」と定められています。これに基づき、先日、元教育委員、岩国市 P T A 連合会会長、社会教育委員、地域学校協働活動推進員の 4 人をお招きし、本報告書に対する御意見をいただきましたので、後ほど御紹介いたします。続いて、6 ページ中段から 8 ページの第 3 章「点検・評価の構成」ですが、10 ページ以降に掲載している各事業について、評価基準のポイントと総合評価の内容を掲載しております。事業評価の一覧は 9 ページに掲載しておりますので、御確認をお願いします。 ・次に、10 ページ以降に掲載している各事業の「点検・評価シート」について、先ほどお伝えしました学識経験者からいただいた御意見を紹介します。別紙の「点検及び評価会議 意見まとめ」を御覧ください。時間の都合上、全てを読み上げることはできませんが、いくつか御報告します。 ・まず、1 ページの「1. 灘小学校屋内運動場改築事業」について、令和 6 |

年度に屋内運動場にも空調設備を整備していく方針を示している中、灘小学校には空調設備を整備せずに、事業を完了していることから、効率性の評価を4点から3点に下げる修正をしたい旨を説明しました。そうしたところ、「灘小学校屋内運動場の改築事業自体はきちんと達成しており、達成度を3点から4点に上げた方がよい。」との御意見をいただき、その後の内部協議において、事業自体は当初の予定どおり完了していることから、達成度を4点に修正しました。

- ・次に、裏面の2ページ「3. 英語交流センター（PLAT ABC）での取組」について、「駐車場が少ないことが課題であり、案内方法の検討や、近隣の施設、空き地の借り上げを考えてはどうか。」との御意見があり、これに対して、「駐車場は10台確保していること、JRに近接していることもあり、公共交通機関を利用いただきたいと考えているが、駐車場の場所等については、ホームページなどでも案内する。」と回答しました。そのほか、幅広い人に施設を認知していただけるよう、広報方法を検討してはどうかといった御意見などもいただいております。
- ・次に、「4. 小中一貫教育の推進」について、「コミュニティ・スクールと地域協育ネットの違いが理解されていないのでは。学校側が地域に何をお願いして良いか分からない、地域が何をして良いか分からないという現状があり、地域協育ネットがきちんと活かされていないと感じている。」との御意見に対し、「豊かな心や確かな学力をつけるためには、地域と協働してやっていかないと立ち行かなくなっているため、今後、研修などを通じて働きかけていきたい。」と回答しました。そのほかの御意見として、「東小中学校の施設一体型のメリット、デメリットを保護者に分かるようにアナウンスしてほしい。」との御意見がありましたが、メリットとデメリットについては、整理にもう少し時間が必要と回答しました。
- ・次に、3ページ「6. 非行防止に向けた青少年育成センター活動の推進」について、「補導員の確保に努める必要はあるが、達成度を4点にして、総合評価Bの10点で良いのではないか。コロナ禍でできていなかった活動ができていのに、総合評点が低いのでは。」との御意見に対し、「現状に満足していないことから、この評価としている。」と説明したところ、「一度なくなった活動を復活させることはエネルギーがいることであり、努力していることを評価し、達成度は4点で良いのでは」との御意見をいただきました。その後の内部協議において、いただいた意見を踏まえ、達成度を4点に修正しています。
- ・次に、4ページ「7. 教育支援教室における効果的な指導や運営の推進」について、「不登校児童生徒が減少に転じたとの説明であったが、子供の数も減っている中、割合はどうか。」との御意見に対し、「実数は減っているが、1,000人当たりの不登校児童生徒数は前年度と同じ数値であること、他市の様子を見ると、全体の生徒数が減っている中、不登校児童生

| | |
|---------------------|---|
| | <p>徒数は増えている傾向が多い。」と回答しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に、5 ページ「10. 各種学級・講座開催事業」について、「新しくなる中央公民館に合わせて、今までのことを踏襲するのではなく、何を望まれているかニーズを把握して講座を開講するように努めて欲しい。」との御意見に対し、「講座を受講された方にアンケートを取っているため、それらをもとにニーズを把握しながら、新しいメニューを検討していきたい。」と回答いたしました。 ・次に、「12. 子供の読書活動推進事業」について、「小中学生にもっと図書館を利用してほしいと思う。今の中央図書館はどのくらいの範囲の子供が来ているのか。」との御意見に対し、「中高生は本を借りるというよりは学習室利用が多い。特にテスト週間は、高校生が多く利用されている。居住地域は把握できていない。」と回答いたしました。 ・最後に、6 ページ「14. 科学クラブ事業」について、「科学クラブ事業については、新しい科学センターに移るのか？交通手段はどうなるのか？場所的には車を持たない人からすると今よりも行きづらくなるので、参加者が減りそうで心配。」との御意見に対し、「要望や交通手段などのアンケート調査を行っているが、科学クラブで来館される方は車での送迎が多く、新しい科学センターは駐車場も多く確保していることから、交通手段の面では大きな問題はないと考えている。内容を充実させて、少し遠くても来てもらえるよう努力したい。」と回答いたしました。 ・このほか、様々な御意見をいただき、内部協議を経て、評価等を一部修正したものが、この度の報告書となります。 ・なお、本報告書に関しましては、本日ご承認をいただいた上で、その内容を9月市議会に報告させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。 |
| <p>教育長 岡田委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ただ今の説明に御意見・御質問がございましたらお願いします。 |
| <p>村尾委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の推進について、コミュニティ・スクールと地域協育ネットの違いがよく理解されていないとか、学校がどう出てよいかわからない、地域が何をしたらよいかわからないというのはコミュニケーション不足も原因だと思います。お互いが遠慮しあっている状況があると思いますので、そもそもの考え方をきちんと説明して、校長がきちんと把握することが大事だと思います。 ・東小中については、成果発表や、こういうことができたということをそろそろ発信していく時期ではないかと思っております。 |
| <p>学校教育課長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・小中一体型のメリットデメリットについてですが、本郷なども対象になると思いますが、新しく小中一体型を大規模校でやったということで東小中をクローズアップしたのですか。 ・一つの中学校に対してたくさんの小学校があるため、今後の統合も含めてモデルになる東学園の取り組みをいったん整理してほしいというご意見 |

| | |
|-------|---|
| 村尾委員 | <p>でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デメリットについては、小学校の校区が広がったため、登下校の関係で多少トラブルがあるとは校長先生もおっしゃっていました。学校運営については、それぞれに校長先生がいらっしゃいますから、互いの考え方を生かしながらやっていくということになると思いますので、物理的な面のメリットデメリットを示していくようになるかと思います。 |
| 教育長 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな地域から視察にいられていてその時の資料もありますので、今の状況や成果についてまとめていきたいと思います。 |
| 村尾委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成センターの補導員の確保についてですが、非行防止のためには補導員の巡回パトロールが非常に効果的だと思います。私も10年くらいしていましたが、当時は喫煙などの問題行動も多くありました。この補導については、1回あたり謝金が1,000円くらいでしたかね、20年くらい前から金額が変わってないと思うんですよ。費用対効果からいうと非常に高いのではないかと思います。学校の先生や地域のボランティアを中心に構成されていると思うのですが、今は50人くらいの体制ですか。昔はもっと多かったでしょう。今は問題行動のある児童生徒が非常に少なくなっているのです、その人数でもまかなえるということですか。 |
| 青少年課長 | <ul style="list-style-type: none"> ・人数が少ない理由が2つありまして、1つは、先生方の働き方改革ではないのですが、補導員として強制的に各学校から何名出してくださいというのが言いづらくなっているという点があります。 |
| 村尾委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・言いづらいとは思いますが、岩国市の子供たちのためにボランティアでやってくださいということをお願いすれば良いのではないですか。 |
| 青少年課長 | <ul style="list-style-type: none"> ・そうしたお願いで、強制ではなくて自主的にやりたいという先生方に協力していただいている状況です。また、2つ目の理由として、これまでずっと補導に携わってくださっていた方々が高齢化してきており、新規で参加してくださる地域の方も少なくなっているということで、全体的に補導の参加者が減少しています。この事業は一旦やめると再び開始することができなくなるので、継続していかないといけないと思っています。以前とは違い今は問題行動などもそんなにないのですが、ないからと言ってやらないのではなく、ないからこそ補導の腕章をつけて日中と夕刻に地域の方々、先生方がきちんと子供たちの見守りをしているということを市民の方にも知ってもらわないといけないと考えていますので、今後も継続していきたいと思っています。 |
| 村尾委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の補導連絡協議会というのがありますよね。100人くらい集まっていた地域もありましたが、今言われたように高齢化と、いわゆる若い方にパトタッチできていない状況があって参加者も減少しているということがあります。組織の問題も含めてですが、地域にお願いしてまわるくらいでないと青少年の健全育成ができなくなってしまうのではないですか。 |
| 青少年課長 | <ul style="list-style-type: none"> ・有識者の意見聴取の際は、防犯パトロールの組織が各地域にあるので、連 |

| | |
|--------|--|
| 渡邊委員 | <p>動してやってみてはどうかというご意見もいただいたので今後検討していきたいと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯パトロールは、各地域で展開されていますよね。青少年課で活動されている補導については、エリアが限定されているということで特に麻里布地区の防犯パトロールが二手に分かれてというかたちになると思います。川下地区になりますが、月に2回パトロールしていたのをコロナ以降はやめて復活できていない。地域によっては同じような状況があるのではないかと思います。子供たちは、夜は家にいたり塾に行ったりしているのだと思うのですが、当時パトロールをしている時に子供たちと出会うことは全くありませんでした。防犯パトロールとの連携は難しいとは思いますが、よく課題として検討してほしいと思います。 |
| 教育長 | <ul style="list-style-type: none"> 別にないようでしたら議案第18号は原案のとおり決することに御異議ございませんか。 |
| 各委員 | <ul style="list-style-type: none"> 異議なし。 |
| 教育長 | <ul style="list-style-type: none"> 御異議なしと認め、議案第18号は原案のとおり決します。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 本日の議題は以上でございます。それでは次回の教育委員会会議の日程について事務局からお願いします。 |
| 教育政策課長 | <ul style="list-style-type: none"> 次回の定例会は令和7年8月19日（火）岩国市役所2階特別会議室において9時30分から所属長会議を、10時から教育委員会会議を開催いたします。 |
| 教育長 | <ul style="list-style-type: none"> 以上をもちまして、令和7年第9回岩国市教育委員会会議を終了します。 |

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 渡邊 博明

教育委員 岡田 淳子